

大阪府工業指数2022年4月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…94.7 前月比▲1.8% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、化学工業など 8 業種が低下し、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業など 6 業種が上昇した。

品目別にみると、超硬工具、ショベル系掘削機械等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲13.3%と5か月連続の低下となった。

(2) 出荷指数…96.0 前月比 0.0% 横ばい(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、電気・情報通信機械工業など 10 業種が上昇し、化学工業、その他工業など 4 業種が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲8.0%と5か月連続の低下となった。

(3) 在庫指数…98.5 前月比▲2.7% 3か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、石油・石炭製品工業など 9 業種が低下し、電気・情報通信機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業など 4 業種が上昇した。

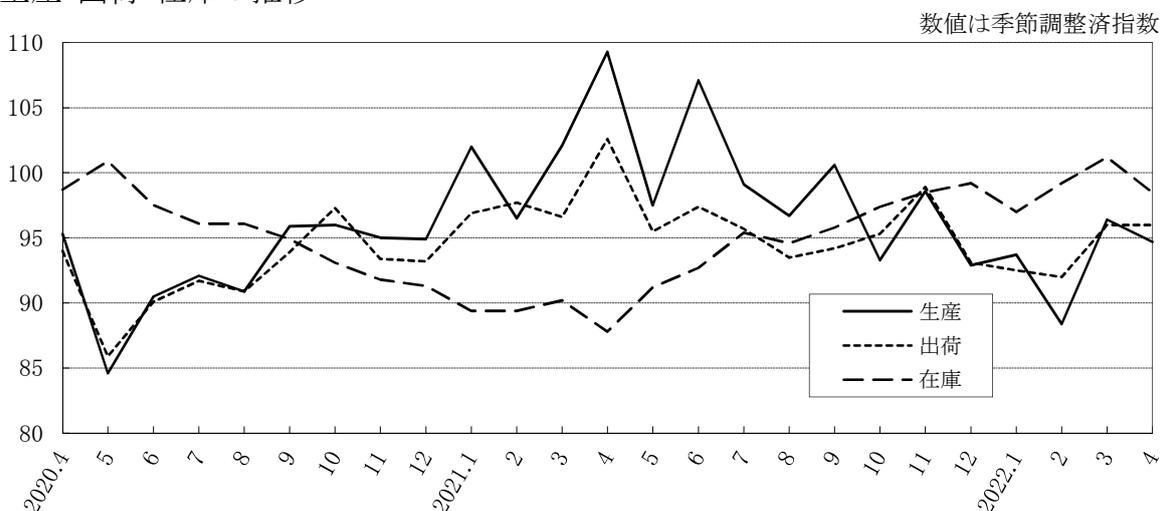
品目別にみると、ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、12.2%と8か月連続の上昇となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2022年3月	96.4	9.0	103.7	▲ 5.6
	2022年4月	94.7	▲ 1.8	94.2	▲ 13.3
出 荷	2022年3月	96.0	4.3	105.1	▲ 1.9
	2022年4月	96.0	0.0	94.0	▲ 8.0
在 庫	2022年3月	101.2	2.0	98.4	12.2
	2022年4月	98.5	▲ 2.7	99.0	12.2

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産

前月比

▲ 1.8%

上昇 6 業種
低下 8 業種
横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	1.042	18.4	鉄道車両部品、駆動伝導・操縦装置部品
	電子部品・デバイス工業	0.692	59.4	アクティブ型液晶パネル
	金属製品工業	0.225	3.0	鉄塔、飲料用アルミニウム缶
	窯業・土石製品工業	0.140	6.2	生コンクリート、研削砥石
	電気・情報通信機械工業	0.117	1.1	開閉制御装置、工業用計測制御機器
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.041	2.5	衛生用紙
	その他の上昇した品目			
低下	生産用機械工業	▲1.746	▲13.5	超硬工具、ショベル系掘削機械
	化学工業	▲1.199	▲5.2	医薬品、ポリプロピレン
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.237	▲3.3	亜鉛めっき鋼板、アルミニウムはく
	その他工業	▲0.200	▲3.4	ゴムベルト、木製家具
	食料品工業	▲0.143	▲1.6	チョコレート、食用油脂
	石油・石炭製品工業	▲0.127	▲8.1	灯油、重油
	汎用・業務用機械工業	▲0.037	▲0.5	汎用内燃機関、分析機器
	プラスチック製品工業	▲0.037	▲0.9	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製パイプ
	その他の低下した品目			

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	鉄道車両部品	輸送機械工業
	2	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業
	3	ベンディングマシン	生産用機械工業
	4	ウイスキー	食料品工業
	5	試験機	汎用・業務用機械工業
	6	化学機械	生産用機械工業
	7	ダイカストマシン・鋳型機械	生産用機械工業
	8	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	9	鉄塔	金属製品工業
	10	開閉制御装置	電気・情報通信機械工業
低下	1	超硬工具	生産用機械工業
	2	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	3	産業用アルミニウム製品	金属製品工業
	4	ゴムベルト	その他工業
	5	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	6	医薬品	化学工業
	7	標準変圧器	電気・情報通信機械工業
	8	鉄道車両	輸送機械工業
	9	チョコレート	食料品工業
	10	電動アシスト自転車	輸送機械工業

(2) 出荷

前月比

0.0%

上昇 10 業種
 低下 4 業種
 横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	0.998	9.6	鉄道車両部品、シャシー・車体部品
	電気・情報通信機械工業	0.829	12.6	セパレート形エアコン(室外)、開閉制御装置
	汎用・業務用機械工業	0.475	7.3	ポンプ、試験機
	石油・石炭製品工業	0.386	4.4	軽油、ジェット燃料油
	プラスチック製品工業	0.326	8.1	プラスチック製機械器具部品 プラスチック製容器(中空成形)
	金属製品工業	0.286	3.6	鉄塔、産業用アルミニウム製品
	生産用機械工業	0.221	2.1	装輪式トラクタ、ベンディングマシン
	食料品工業	0.127	1.6	ウイスキー、ビール・発泡酒
	窯業・土石製品工業	0.060	3.5	生コンクリート、無アルカリガラス基板
	電子部品・デバイス工業	0.001	0.1	固定コンデンサ
	その他の上昇した品目			
低下	化学工業	▲0.804	▲5.5	医薬品、ポリプロピレン
	その他工業	▲0.268	▲4.7	ゴムベルト ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下)
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.154	▲1.2	亜鉛めっき鋼板、普通鋼大中小形形鋼
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.076	▲5.0	段ボール原紙
	その他の低下した品目			

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3) 在庫

前月比

▲ 2.7%

上昇 4 業種
 低下 9 業種
 横ばい 0 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	電気・情報通信機械工業	0.367	2.0	乾電池、LED器具(除. 自動車用)
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.088	5.9	段ボール原紙
	金属製品工業	0.061	0.6	飲料用アルミニウム缶、ワイヤロープ
	プラスチック製品工業	0.045	1.3	プラスチック製継手、プラスチック製建材
	その他の上昇した品目			
低下	生産用機械工業	▲0.886	▲35.2	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	石油・石炭製品工業	▲0.373	▲12.2	重油、軽油
	食料品工業	▲0.290	▲6.9	ハム・ソーセージ
	化学工業	▲0.276	▲1.8	溶剤系合成樹脂塗料、合成洗剤
	輸送機械工業	▲0.114	▲5.1	電動アシスト自転車、小型乗用車
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.109	▲0.5	鋼半製品、普通鋼小形棒鋼
	汎用・業務用機械工業	▲0.051	▲0.5	エアハンドリングユニット、汎用内燃機関
	その他工業	▲0.036	▲0.6	木製家具、染色整理(綿・合成繊維織物・ニット生地)
	窯業・土石製品工業	▲0.019	▲1.4	安全ガラス、板ガラス
その他の低下した品目				産業用アルミニウム製品【金属製品工業】 陸上移動通信装置【電気・情報通信機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移

数値は季節調整済指数
2015年=100

生産 ————
出荷
在庫 - - - - -

汎用・業務用機械工業



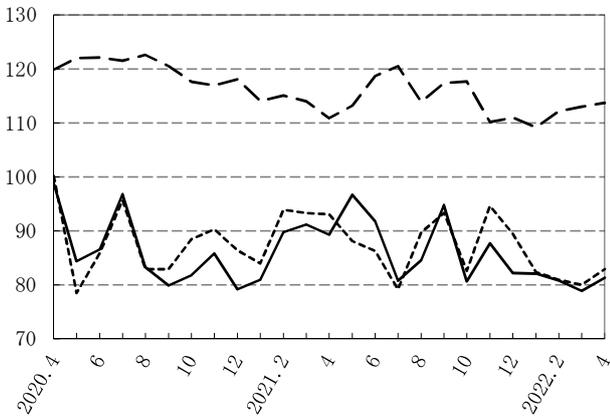
鉄鋼・非鉄金属工業



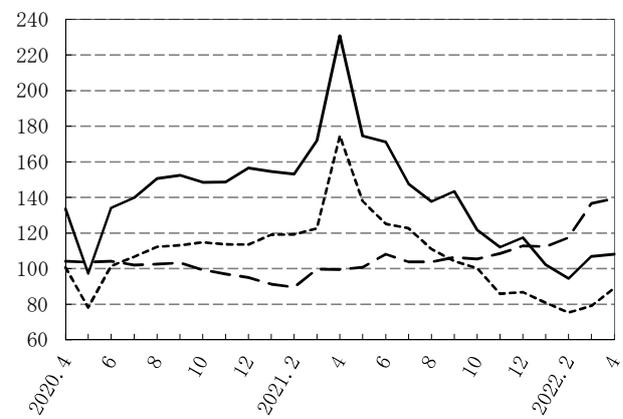
電子部品・デバイス工業



金属製品工業



電気・情報通信機械工業



生産用機械工業



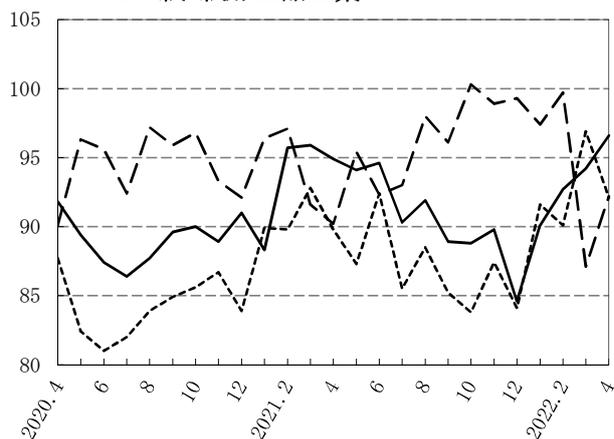
輸送機械工業



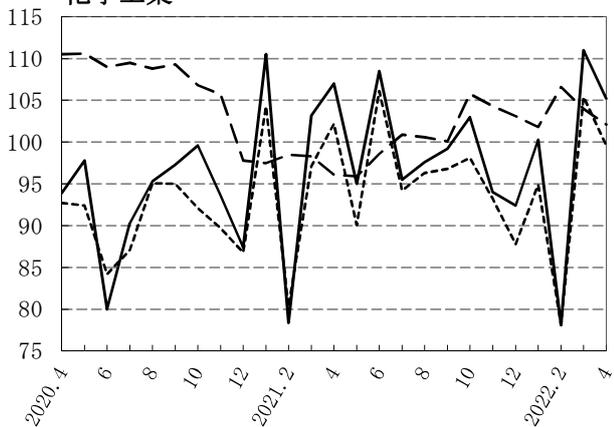
窯業・土石製品工業



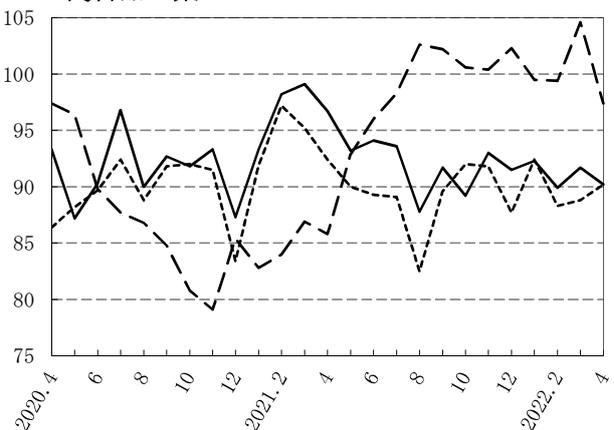
パルプ・紙・紙加工品工業



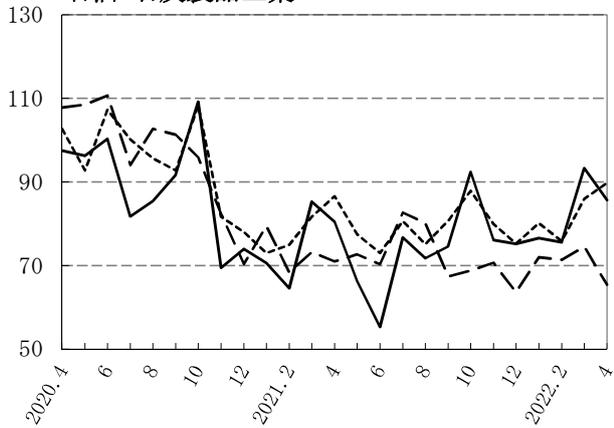
化学工業



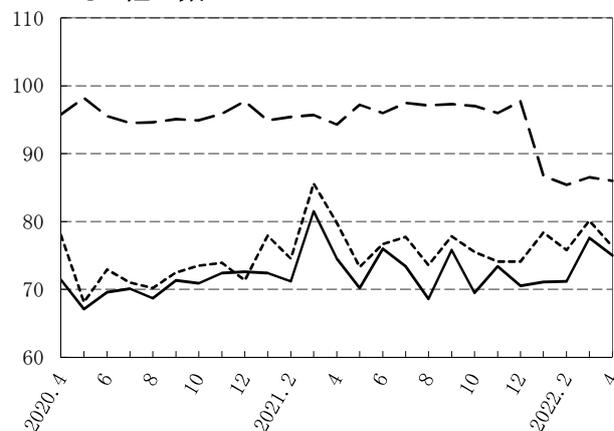
食品工業



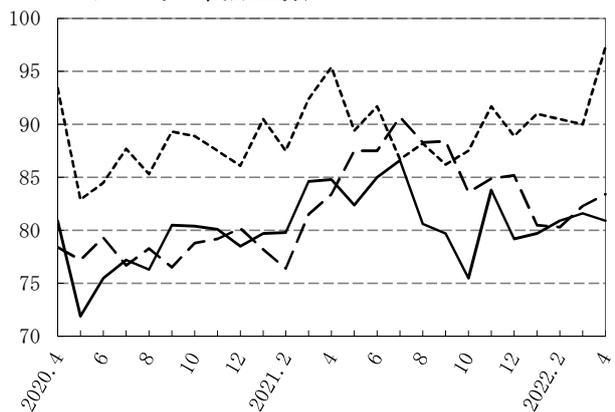
石油・石炭製品工業



その他工業



プラスチック製品工業



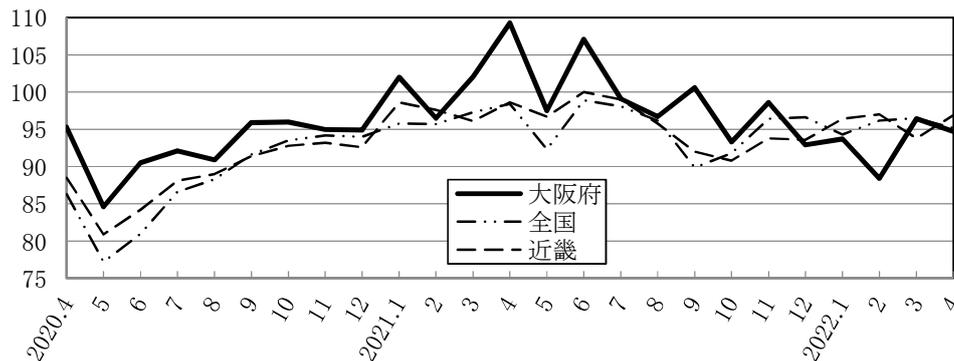
4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	94.7	▲ 1.8	95.2	▲ 1.3	96.9	3.3
出荷	96.0	0.0	93.3	0.0	101.1	5.4
在庫	98.5	▲ 2.7	98.4	▲ 2.5	99.2	▲ 5.0

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2015年(平成27年)です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成31年1月速報(2019年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、2020年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。2021年11月速報(2022年1月31日公表)から補正後の指数値を用いています。年間補正は毎年実施しますので、2021年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。
大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。
大阪府総務部統計課 情報企画グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)